

継往開来

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

第一回農産物加工品販売会を実施して 担当者 平間 直人

5月18日に、仮設農場管理棟において農作物加工品販売会を行いました。当日、14時からの販売開始にも関わらず、販売30分前には長蛇の列が出来ていました。農業・園芸科露地野菜部門からはブロッコリーとタマネギ、作物部門からは米、生物工学部門からはセッコク苗と間接照明、施設野菜Ⅱ部門からは部門初の野菜苗の販売をしました。また食品化学科のジャムが一番早く完売となり例年通り人気があると感じました。今回は2年生の専攻生徒が各々のレジを担当しました。販売における注意事項・言葉遣いについての確認を終えると販売開始時刻となっていました。

予想外のお客様の多さに購入制限をつけて販売開始しました。用意した農作物は飛ぶように売れていき、露地野菜は再収穫に至るほどでした。



～平成27年度宮城県農業高校 全校田植え各学年優秀賞獲得クラスより～

「全校田植え学年優秀賞獲得に至るクラスでの工夫」について

1学年優秀賞 生活科 1年4組 代表 橋元朱音、横沢幸恵、齋藤かれん

私たち1年4組では、副担任の渡部剛実先生を中心に作戦会議を行いました。元々田植えの経験者も多く、話し合いもスムーズに進みました。

田植え当日、欠席者は一人もおらず、全員で田植えを行うことができました。最初は、泥の感触に動揺していましたが、しかし、始まってからは、担任の中野先生の熱いかけ声と、剛実先生の落ち着いたかけ声で盛り上がり、気持ちを一つにしました。1列1列きれいに、ゆっくり、美しく植えることができました。先輩方が早く終わっても集中力を切らさず、最後の1列一束まで気持ちを込めて植え終わる事ができました。

振り返ると、一番の勝因は「かりんとうへの欲」だと思います。改めて、食べ物への力はすごいと感じました。



継往開来

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

2学年優秀賞 食品科学科 2年5組 代表 岡部将也

私たちは全校田植えでこれといった工夫は特にしていません。本番に自然と一致団結し獲得することができました。なぜ自然と力を合わせ本領発揮できたかという私は日常のクラスの雰囲気やみんなの仲の良さがあったからこそだと思います。

田植えの最中は盛敏先生をはじめとし、全員が声を出し、士気を上げていました。私はひも係だったのでもう一人と力を合わせて迅速にひもを移動し、かつ正確にまっすぐにひもを張りました。最後まで声を絶やすことなくみんなカバーし合いながら苗を植えていました。植え終わった2-5の苗はこのクラスよりもキレイだったのを覚えています。

このようなことから、全校田植えで学年優秀賞をとりたい、という共通の目標をみんなが持ったからこそついてきた結果が学年優秀賞なのだと思います。

この調子で来年もまた優秀賞をとれるように頑張りたいと思います。

3連覇!



3学年優秀賞 食品科学科 3年5組 代表 鎌田淳也 白石 怜

我々三年五組は今年の全校田植えで目出度く学年最優秀賞三連覇を掴み取ることができました。その大きな要因は、三年間ずっと紐係を務めた僕たち二人と、僕らを信じてくれたクラス全員の団結力があったからだと思います。あとは僕たちの強運でしょうか。またクラス担任が何においても心強い先生であるということ、毎年助っ人として来てくださる先生方がとても頼もしかったということも要因だと思います。

このように、三連覇を成し遂げられたのは三年五組の全員と手助けしてくださった先生方のおかげです。誰か一人でも欠けていたら三連覇は達成されなかったと思います。ご協力本当に有難うございました。



～審査委員長 浅野教頭先生より～「田植えをとおして学んで欲しいこと」

全校田植えの審査のポイントの1つは「きれいに、丁寧に」であった。「きれい」とは、整然と苗が植えられていることである。決まった間隔での田植え(手植え)は明治30年代頃から始まったと言われている。

なぜ、決まった間隔で植える方がいいのだろうか?その理由を考えて植えていただろうか?理由には次のことがあげられる。一株一株、稲に光が十分あたるように、風通しが良くない病害虫の発生を防ぐように、除草作業の能率が上がるように。その効果が米の収量増加につながっていく。

実習で行われる作業にも、必ずその作業を行う意味、理由がある。意味を理解しながら行う作業と、意味もわからず行う作業では、その後の成果、効果は変わってくるはずである。「何のために行うのか」疑問に思い、考え、確認しながら授業に取り組んで欲しい。

～近況報告～

今年はずっと降雨量が少なく、環境に合わせた管理が求められています。全校田植えも年々クラス落ち着きが見られ、地域からも暖かい声をいただいております。夏休みまでの一ヶ月間頑張らしましょう。

6月25日 農業クラブ測量競技会宮城県大会

6月24日 第二農産物加工品販売会(仮設農場管理棟)

7月3日 農業クラブ意見発表大会宮城県大会

7月9日 農業クラブ情報処理競技会宮城県大会

7月14日 農業クラブクラブ活動紹介発表会宮城県大会

将来農業人を

目指す人募集中